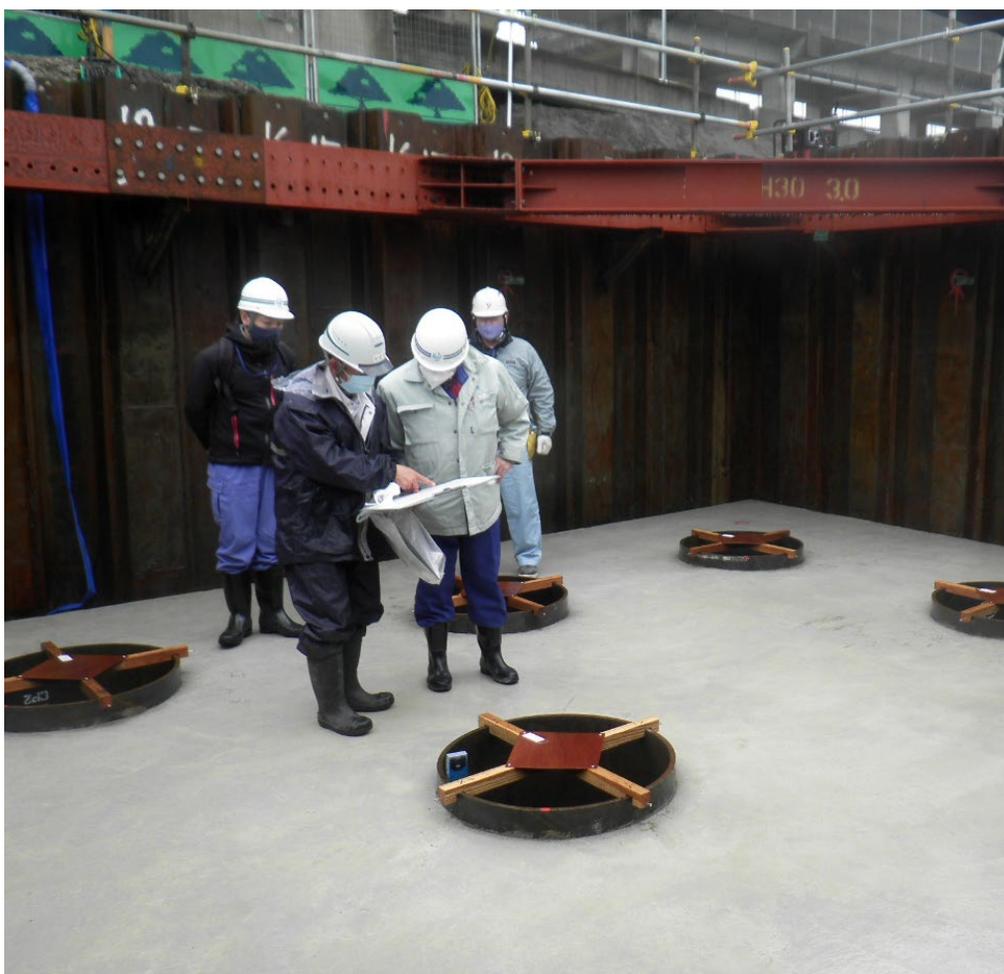


受発注者相互の信頼関係構築に向けて

～ 現場技術者に望まれる資質とは ～



令和4年6月

国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所

冒頭にあたって

我が国の成長と安全安心を確保し、地域経済・社会を支える道路ネットワークの整備、維持管理を進めるには、受注者と発注者の協力が必要です。そのため、各現場において、より良いものを決められた工期に完成させるべく受発注者の双方が一丸となって努力することが大切だと考えています。

そうした中、当事務所の管内でも、受発注者間で良好な信頼関係が構築できていない現場があり、その理由には、監督員の心ない一言や発注担当の技術力不足などがあると認識しています。また、双方のコミュニケーション不足が影響し、工事の遅延や度重なる契約変更が積み重なった結果、国発注の工事は敬遠したい、との声にも繋がっている部分もあると聞いています。

一方で、双方の前向きな議論の結果、お互い納得のいく成果に繋がったとの嬉しいお話を頂いたこともあり、そうした声が監督員の励みにもなっているものと認識しています。

このため、相互の良好な信頼関係を構築し、業務改善につなげ、よりよいインフラ整備・管理ができるよう、常陸河川国道事務所・久慈川緊急治水対策河川事務所での先行事例を参考に、「各現場で望まれる技術者や技術力」について受注者の方々の声を改めてお聞きすることとしました。

この冊子は、これまでに経験された千葉国道事務所の工事に関し、職員の現場指導や技術力、専門知識、人間性が感じられたエピソードなどを、無作為抽出した受注者の方々にアンケートし、寄せていただいたものをまとめたものです。

工事を受注された方々が施工期間中に“良かった”と感じた事例について、当事務所の現場業務に従事する監督員や工事に携わる職員、現場技術員の間で横展開し、より良い現場づくりに繋げていきたいと考えています。

なお、同時に寄せられた厳しいご批判の声も、事務所幹部においてしっかりと受け止め、今後の業務運営の中で改善し、反映していく所存です。

最後になりますが、ご多忙にもかかわらずアンケートにご協力をいただきました皆様にはこの場をお借りして御礼申し上げます。

令和4年6月
千葉国道事務所長
小島 昌希

目 次

	頁
テーマ 1 現場における工事監督・技術指導（8話題） ……	1
話題 1 設計条件についての具体的な助言	2
話題 2 現場の懸案・留意事項の情報共有	2
話題 3 書類作成に関するアドバイス（1）	3
話題 4 書類作成に関するアドバイス（2）	3
話題 5 若手技術者の育成	4
話題 6 施工者からの提案	4
話題 7 経験者のアドバイス（共同溝工事）	5
話題 8 現場工程に沿った現場立会	5
テーマ 2 工事書類のスリム化（2話題） ……	6
話題 1 工事書類のスリム化に向けた協力	7
話題 2 不要な工事書類の提示	7
テーマ 3 クイックレスポンス（3話題） ……	8
話題 1 協議結果に対する速やかな対応	9
話題 2 受注者からの問い合わせ等に速やかに対応	9
話題 3 現場施工の問題点の解決と変更審査の早期対応	10
テーマ 4 工事検査（8話題） ……	11
話題 1 工事検査時に丁寧で気遣いを欠かさない検査官	12
話題 2 書類のチェック	12
話題 3 施工者の創意工夫	13
話題 4 検査官への変更経緯等の説明	13
話題 5 検査対象の見直しによるメリット	14
話題 6 書類の電子化により検査が容易に	14
話題 7 検査時に苦労した点を確認する検査官	15
話題 8 検査前に検査書類を確認	15

テーマ 1 現場における工事監督・技術指導

(8話題)

		頁
話題 1	設計条件についての具体的な助言	2
話題 2	現場の懸案・留意事項の情報共有	2
話題 3	書類作成に関するアドバイス(1)	3
話題 4	書類作成に関するアドバイス(2)	3
話題 5	若手技術者の育成	4
話題 6	施工者からの提案	4
話題 7	経験者のアドバイス(共同溝工事)	5
話題 8	現場工程に沿った現場立会	5

話題1 設計条件についての具体的な助言

■エピソード

交差点の安全対策を行う工事で施工用計画図を作成する必要があり、その進め方に受注者は悩んでいた。思い切って現場技術員に相談したところ、雨水の処理の流下方向に関する提案や、水抜き用の歩車道境界ブロックや導水パイプを利用するといった具体的な内容の助言をもらったことがきっかけとなり、工事を前向きに進める意欲が出て無事竣工し、満足のいくものができた。

■背景

現場の施工区間は縦断勾配が緩く、新設予定の右折車線は左右に分離帯が設けられる計画で、既存舗装との取り合いや雨水滞水を考慮し、信号の移設位置、舗装構成、施工ステップ等を関係者との調整結果に基づいて作業を進める必要があった。また、存在する道路断面図は標準図程度で、計画平面図と現地構造物に相違があるなどの状況であった。

コメント

- 施工者は相談したい事があっても、聞いてもよいものかためらい悩んでしまう場合もある。日頃から何でも相談できる関係づくりに心懸け、相互に協力して円滑な施工を目指そう。
- 発注者においても、条件明示が漏れていないか気をつけたい。

テーマ1-2（現場における工事監督・技術指導）

話題2 現場の懸案・留意事項の情報共有

■エピソード

出張所の監督職員が、前年度施工者の現場や住民等の対応に関する引継ぎ事項を把握しており、施工者から監督職員に相談する前にそれらの情報を施工者に共有してくれた。このことにより現場での悩みが解消することができ、助かりとてもうれしかった。

■背景

交差点の改良工事で、狭い用地の中で現道の切回しを伴う難工事。仮設計画・仮設図面作成、本線計画図面修正、排水施設の見直し、計画図面作成、他の道路管理者や地域住民の意向・要望の反映など、現場条件・状況の把握や対応が大変な現場であった。

コメント

- 現場に関する情報は、受注後速やかに監督職員と施工者の間で共有することが大切。現場技術者の負担を軽減し、信頼関係を高め、助け合って現場を進めることで予定工期内に完成させることにも繋がる。

話題3 書類作成に関するアドバイス（1）

■エピソード

工事書類の作成にあたり、現場技術員がポイントを示してくれたので非常に助かった。また、参考として他工事の作成例なども提示してもらえたのもわかりやすくとても参考になり良かった。

■背景

現場代理人として初めて担当した工事。不慣れで、工事打合せ簿や設計照査資料の書類作成の時、他事務所と作成方法が違った。

テーマ1-4（現場における工事監督・技術指導）

話題4 書類作成に関するアドバイス（2）

■エピソード

千葉国道事務所発注の工事を初めて担当したが、工事打合せ簿や関係機関協議資料といった工事書類の作成において、情報共有システムの活用や道路協議などわからない事が多く困っていた。不明な点を現場技術員に電子メールや電話で相談したところ、速やかに回答してもらい非常に助かった。

■背景

これまで県・市や民間の工事を主に担当しており、国の工事を担当するのは久々で、千葉国道事務所の発注工事を今回初めて担当した。工事関係書類の作成関係についてわからないことが多く、社内の同僚などに聞いても経験者がいなかったり、打合せの時間が合わずに困っていた。

話題3・4に対するコメント

●工事書類の作成について悩み苦しむ施工者は多い。局HPに公表されている「土木工事電子書類作成マニュアル(※)」に基づいて、的確なアドバイスが求められている。土木工事電子書類スリム化ガイドの趣旨を踏まえ、過度に押し付けにならない様気をつけて取り組んで欲しい。

※ https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000752089.pdf



話題5 若手技術者の育成

■エピソード

現場代理人に若手技術者を配置した。現場で初めて経験することが多々あったが、工事打合せ簿等の書類の作成や現場での立ち合い方法などについて、現場技術員から怒らず丁寧に教えてもらい育ててもらった。とても参考になり感謝している。他工事でも一緒に仕事をしてみたい。

■背景

総合評価の「若手技術者（35歳以下）の活用及び資格」に伴い、現場代理人に若手技術者を配置したケース。若手技術者は民でも官でも貴重な人材で大切な戦力。道路行政の推進、建設業界の将来のためにも活躍出来る技術者に育成したい。

コメント

- 自社の社員は自社で育ててとの声もあるかもしれないが、技術者不足。受発注者の垣根を無くし、若手技術者を自ら育ててみませんか。
- 国の工事に不慣れな技術者に対して、年齢・役職などに関係無く、同じ技術者として怒ることなく、親切・丁寧・惜しみない対応で。
- お互いに未熟な人間同志であることを自覚して、相手の人格を尊重し合い、短い期間であるが、好ましい人間関係を築くことが何より大切。（出典 災害査定関係資料より）

話題6 施工者からの提案

■エピソード

暫定区間の擦り付け施工について、施工者から監督職員に現場に適した施工案を提案し、速やかに承諾された。施工者の意見を真摯に受け止めてもらい、提案が採用されたこともあって気持ち良く施工することができた。技術者冥利に尽きる。

■背景

仕様書には示されていたが、施工者において十分な現場精査の結果、暫定区間の施工擦り付け方法について協議を行った。

コメント

- 技術者として頭から否定はせず、常に聞く耳を準備しておきたい。甲乙対等な立場であり、決して上から目線にならないようにしたい。

話題7 経験者のアドバイス（共同溝工事）

■エピソード

共同溝工事を担当することに。現場は、複数年に渡り同様の工事が計画的に継続して発注・施工されている様な状況であった。この工事担当の現場技術員は、共同溝の工事を数多く担当してきたベテランの経験者で、工事初期の他企業等との管理地使用の手続きや、近接施工に関する協議のポイントを惜しみなく丁寧に教えてくれた。この現場技術員からのアドバイスがあったお陰で、現場施工における悩みも減り、非常に助かった。

■背景

受注者は共同溝工事を担当してまだ経験が浅く、施工に係わる手続きや協議などはまだ担当したことが無く、ひと通り全てのことを経験・把握出来ていなかった。

コメント

- 施工担当者の年齢を問わず、最初にわからないことがあれば、悩まず躊躇せずに聞いて下さいと伝え、聞かれたら惜しみなく親切丁寧に、方法・手順・ポイント・コツ・作成例等をアドバイスしよう。アドバイスしない時に比べて、きっと工事が問題少なめで円滑に進むことになることでしょう。

話題8 現場工程に沿った現場立会

■エピソード

現場立会は、都度速やかに実施できないと立会が済むまで現場作業を止めて待たなければならない場合もあるが、現場技術員が現場に極力支障が出ない様に調整してくれたおかげで、現場施工を滞らせること無くスムーズに行うことができた。また、現場立会時に現場技術員が施工上の注意点などを教えてくれたが、とても勉強になった。

■背景

現場技術員の優しさや行動が施工者の心を動かし、現場を円滑に動かすことができた。

コメント

- 担当工事数が多く立て込んできたり、急な飛び込み依頼の場合などは、施工者の希望に応じることが難しい場合がある。予め施工者に遠隔臨場の利用を確認し、対応可能であれば柔軟に活用してみよう。
- 予め立会予定を提出してもらい事前調整しておきたい。

テーマ 2 工事書類のスリム化

(2話題)

	頁
話題 1 工事書類のスリム化に向けた協力	7
話題 2 不要な工事書類の提示	7

話題1 工事書類のスリム化に向けた協力

■エピソード

現場技術員に教えてもらいながら、土木工事書類作成マニュアルに基づいた工事関係書類のスリム化を実施し、見事スリム化することが出来た。土木工事書類作成マニュアルは、ページ数も多く、事細かく書いてあるので、多忙な現場管理を行いながら見るのは大変だったが、現場技術員が親切丁寧に分かり易く教えてくれたので、やり遂げることが出来たととても良かった。

■背景

現場業務が忙しく、土木工事書類作成マニュアルに目を通す時間も十分に確保出来ないケースもある。ページ数も多くボリュームあるマニュアルを一人で短時間に理解し実践するのは厳しい。

コメント

- 施工者が工事書類で疑問に思っていることや、書類作成における変更点などについてアドバイスや提示を積極的に行っていくことが求められている。

話題2 不要な工事書類の提示

■エピソード

現場技術員から作成や提出が不要な書類等について教えてもらったことにより、工事書類を簡素化することができた。その分作業が軽減され良かった。

■背景

スリム化以前は、工事書類に作成・準備等に多くの時間を費やす必要があったため、担当者に大きな負担となっていた。

コメント

- 書類の簡素化、スリム化に向けて、監督職員や現場技術員と十分な打合せ等を意識的に行っていきたいとの声が多く寄せられている。

テーマ 3 クイックレスポンス

(3話題)

	頁
話題 1 協議結果に対する速やかな対応	9
話題 2 受注者からの問い合わせ等に速やかに対応	9
話題 3 現場施工の問題点の解決と変更審査の早期対応	10

話題1 協議結果に対する速やかな対応

■エピソード

道路協議等に伴う所轄警察署との調整などにおいて、打合せの決定事項に対する監督職員や現場技術員の対応がスピーディーに行われたので、支障なく施工が進捗し、とても助かった。また、提出した協議書を受理当日に現場にまで届けてくれるなど親切に対応してもらい、とても感謝している。

■背景

施工者から見ても出張所は多忙な状況であり、他工事での現場の経験からもスピーディーな対応は期待できず、催促することも憚られると思っていた。

コメント

- 受発注者ともに人材不足で多忙な状況であるが、特に工程に影響するような重大事案などは、お互いに積極的にコミュニケーションをとるように心懸けたい。

話題2 施工者からの問い合わせ等に速やかに対応

■エピソード

現地照査後に質疑や提案を電子メールで送信したが、その日のうちに出張所の係長から回答が返ってきた。速やかな対応もあり、施工の段取りをスムーズに進められた。

■背景

施工者から監督職員に質問や提案を行った場合、回答までに時間を要することがある。

コメント

- 速やかに回答できるものと時間が必要な場合がある。時間がかかるものについては、そのことを施工者に伝えた上で、回答期限を双方で確認しておく様に心懸けたい。

話題3 現場施工の問題点の解決と変更審査の早期対応

■エピソード

現場施工を行うにあたり、多くの問題と多数の変更要素があったが、監督職員の早い対応で工期の遅れを最小限に留めることができた。また、監督職員が早期に設計審査会の開催を設定し実施したことで、現場施工の方向性が明確になり、施工することができた。

■背景

受注後に多数の問題点や施工内容の変更事項が見えてきたが、同時に現場の優先事項等が明確でなく、現場施工の方向性が見えなくなっていた。

コメント

●限られた条件内で発注せざるを得ないことも多いが、契約後に内容変更を含む課題の解決を速やかに行うことが求められ、そのために種々調整し、関係者で協力して課題に速やかに対処することが必要。そこには問題解決能力を有する優秀な人材とチームワークが欠かせない。

テーマ4 工事検査

(8話題)

	頁
話題 1 工事検査時に丁寧で気遣いを欠かさない検査官	12
話題 2 書類のチェック	12
話題 3 施工者の創意工夫	13
話題 4 検査官への変更経緯等の説明	13
話題 5 検査対象の見直しによるメリット	14
話題 6 書類の電子化により検査が容易に	14
話題 7 検査時に苦勞した点を確認する検査官	15
話題 8 検査前に検査書類を確認	15

話題1 工事検査時に丁寧に気遣いを欠かさない検査官

■エピソード

初めての国発注工事の検査であったため、緊張していた。検査官は終始とても優しい口調で対応し、また、工事中の苦労や工夫したことなどを聞いてくれるなど、とても雰囲気の良い検査だった。

■背景

検査時は検査官・受検者の双方が緊張している。特に受検者は何を聞かれるのか、検査は厳しいのか、指摘され答えに詰まるのではないかと心配で、緊張している。

コメント

- 検査官は不備や穴が無いかわ受検者に不必要に厳しくなりがち。尋問ではないので、冷静沈着に淡々と確認する様に心懸ける。

話題2 書類のチェック

■エピソード

現場技術員の適切な書類チェックもあり、竣工検査に落ち着いて臨むことができた。

■背景

監督職員、現場技術員ともに忙しく、関係書類を事前にチェックするのが難しい状況だった。

コメント

- 工事書類は「土木工事電子書類作成マニュアル」に基づいて作成等されるが、特に工事終盤に監督職員や現場技術員が異動となる様な場合、これまで共に工事を進めてきた施工者が完成検査に向けて不安になることがある。検査前に異動となる者は、異動前に工事書類の作成等が適切に行われたかを確認するなど、跡を濁さない様にしたい。

話題3 施工者の創意工夫

■エピソード

書類と現場を確認後に、工事検査官から「他にアピールすることはないか」と聞かれ、創意工夫で実施したことをアピールすることが出来て良かった。

■背景

検査対象書類が限定されていたため、書類と現場確認時に「創意工夫」の資料を検査官に是非見てもらいたかったが、見てもらうタイミングが無かったのが不安だった。

コメント

- 検査時に検査官に実施した取組み内容などについて是非アピールしたいと思っている施工者がいることも忘れないで欲しい。

話題4 検査官への変更経緯等の説明

■エピソード

出張所長や係長は、設計変更項目が多いにも関わらず変更の経緯（原因や根拠）や内容（請負金額やその算出根拠）を把握していて、検査官に説明してくれたこともあり、スムーズに検査を受けることができた。

■背景

工事の発注経緯や設計変更の変更経緯等の全てについて、施工者に情報共有している訳ではない。

コメント

- 施工者は工事について何でも把握している訳ではない。監督職員または発注担当者は、検査官がスムーズに検査ができる様に、事前に工事概要・変更内容・変更の経緯等をしっかり説明しておくように心懸けたい。

話題5 検査対象の見直しによるメリット

■エピソード

現場技術員から事前に検査時の確認書類が10項目になったこと、中間検査と重複する確認は実施しないことを教えてもらっていたので、以前の工事検査時では準備していた「工事概要書」や「写真のダイジェスト版」を作成する手間も無く、万全の体制で工事完成検査に備えることが出来た。

■背景

工事検査は書類が多く、作成・準備等がとても大変で負担が軽減されることを望んでいた。

コメント

- 施工者が検査準備作業に負う負担は少なくない。過度な書類を求めることのないよう、検査時の確認対象書類はスリム化されており、検査前に再確認しておくとうい。

話題6 書類の電子化により検査が容易に

■エピソード

工事関係書類が電子化されたことにより、工事検査時に大量の紙のファイルを取り出して確認する手間が無くなり、画面表示で容易、手軽でスムーズに行える様になりとても良かった。

■背景

工事検査書類は多く、準備作業や検査時の負担は大きかった。従前から、電子書類は電子（ASP）で確認となっていたが、スリム化で徹底することとなった。

コメント

- 工事書類の電子化に対する施工者からの評価は概ね良好である。

話題7 検査時に苦労した点を聞いてくれた検査官

■エピソード

完成検査時に、検査官から車道を施工をするために車線切回し方法について質問され説明した。工事で苦労した点などを評価してもらい、工事の苦労が報われた思いがしてうれしかった。

■背景

これまで検査時に検査官から苦労した点を聞かれたことはあったが、努力が報われたと感じたことは無かった。

コメント

- 苦労の無い工事は無い。施工者、監督職員、そして発注課も皆苦労の連続であるが、最後は皆苦労に報われ気分良く完結したいもの。

【注意】評価は客観的な考査基準によるものであり、上記エピソードにおいて、評価されたと感じているのは、あくまで受検者の個人的な感想であるので留意されたい。

話題8 検査前に検査書類を確認

■エピソード

出張所長に事前に工事検査書類を確認してもらい、修正等を行った。検査時は事前確認済みということで、自信を持って検査に臨むことができた。検査は書面・現場ともに非常にテンポ良く滞ることなく行われ、無事完了することができた。検査時は、不要とされている書類の提示を検査官から求められることも無く、検査官はASPによる検査に慣れている様子だった。

■背景

検査書類は、事前に社内でも確認するが、監督職員目で確認してもらおうと視点が違うので参考になる。

コメント

- 工事検査書類は、支障無く検査が受けられるレベルの状態である必要はあるが、過度な内容や完成度を求めたり、助言する必要性は無いことに留意しておいた方がよい。
- 受発注者間での円滑なコミュニケーションが構築出来ていたお陰で、検査書類の事前準備等がしっかり行えたとの声が寄せられている。

アンケート調査にご協力いただきました企業の皆様

あおみ建設株式会社（東京支店）
阿部建設株式会社
石井工業株式会社
金成重機建設株式会社
鎌形建設株式会社
北川ヒューテック株式会社（東京本社）
京成建設株式会社
株式会社シーテック
ショーボンド建設株式会社（千葉支店）
進和建设株式会社
大成ロテック株式会社（東関東支社）
株式会社ダイリン
竹内建設株式会社
多田建設株式会社
東邦建設株式会社
日本道路株式会社（東京支店）
萩原土建株式会社
古谷建設株式会社
みかど造園株式会社
宮川興業株式会社

五十音順

本アンケート調査は、千葉国道事務所発注工事に受注実績のある企業の皆様に依頼し、ご回答いただきましたものを取りまとめたものです。

※エピソードや背景の内容は、過去の工事についての受注者のコメントに基づいたものであり、本来の監督職員等が行うべきではないものが含まれている場合があります。また、現在では簡素化されていたり、監督職員等として適切ではないと思われるものなどが含まれていることがあることに留意されたい。

MEMO

